新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-1-2		事業名	水と緑のネットワーク事業
担当	建設局下水道河川部河川計画課 品田 818-3414			
全体計画（当初）				
事業内容	国や北海道と連携を図りながら、都市化の進展に伴う地下水位の低下等により、水量の減少や水質の悪化が生じた札幌北部地区（北区、東区、中央区）の河川に豊平川からの維持用水を導水することでせせらぎの回復や、良好な水質の確保を図る。 また、これら北部河川の下流に位置する茨戸川の水質改善を図る。 （具体的な事業内容） 各導水ルート（創成川、雁来、サクシュ琴似川）における導水施設（導水ポンプ、導水管等）の整備等		<年度別の事業内容>	
			平成16年度 鴨々川分水路実施設計 新琴似川導水施設基本設計 北部地区河川水質調査 平成17年度 鴨々川分水路工事 導水管埋設 L = 300m 平成18年度 鴨々川分水路工事 導水管埋設 L = 500m 河道改修 L = 500m	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	創成川ルート予備設計 北部地区河川水質調査		創成川ルート実施設計 創成川ルート導水管工事 L = 327m	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	創成川ルート導水管工事 L = 352m		創成川ルートは平成19年度に完成し、夏までに通水する予定である。水量が現状より5倍程度増えることから、河川環境が向上するとともに、ウグイなどの遡上が増すものと考えられる。また、茨戸川の環境基準点のBODを改善する効果があることが、シミュレーションされている。	
		課題		
		今後、整備予定の雁来ルートについては、事業規模が大きいため、既存の生態系や導水方法、整備による効果などを十分に把握した上で、北海道開発局石狩川開発建設部と連携をとり、進める必要がある。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
創成川ルートについては、護岸の嵩上げなどの河道改修工事を行い、夏前には通水する予定である。また、通水するに当たり、地元や愛護団体の意見を取り入れた水遊び場区間の再整備なども併せて行う。 雁来ルートについては平成20年の着手に向けて諸課題を整理してゆく。				